

第 226 回 Brown Bag Lunch Seminar 「SDGs 達成に向けた地方自治体の取組み ～愛媛県内子町の取組みを例に～」

講師： 堀江由美子氏 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
アドボカシーマネージャー

日時： 2017 年 10 月 20 日（金） 12 時 30 分～14 時（開場 12 時）

場所： FASiD セミナールーム

参加費： 500 円（賛助会員 無料）

定員： 40 名（先着順・要申込み）

「持続可能な開発目標（SDGs）」は、国際社会が 2030 年までに貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するための重要な指針として、17 の目標（ゴール）と 169 のターゲットから構成される 2015 年 9 月に国連総会特別サミットで採択された開発目標です。SDGs の採択後、世界各国で SDGs 達成に向けた取組みが促進されている中、SDGs の目標と多くの関連性を持つ持続可能な町づくりを行っている先進的な地方自治体があります。

愛媛県喜多郡内子町は、松山市から南へ 40km、人口 1 万 8 千人弱の町です。少子高齢化による人口減少、農林業の衰退など深刻な課題を抱えつつも、住民主体で町づくりが進められてきました。SDGs の採択から 2 ヶ月後の 2015 年 11 月には、「ローカル SDGs？ in 内子町」と題して、SDGs が地方にもたらす意義、持続可能な地域のあり方を考えるフォーラムが、2016 年 11 月には町役場職員を対象とした勉強会「SDGs を内子町で考える」が開催されました。こうした取組みは、平成 29 年版環境白書、また 7 月の国連ハイレベル政治フォーラムの日本政府報告書の中でも取り上げられました。さらに、2017 年 9 月 23、24 日には、内子町で「四国版ローカル SDGs をつくろう～」と題したワークショップが開催されました。

本セミナーでは、2015 年 4 月より内子町に在住しながら、SDGs の国内普及と実施促進に従事されている公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン アドボカシーマネージャーの堀江由美子氏をお招きして、地域活性化、住民参加の促進、持続可能な環境や暮らしに向けた取組みが SDGs とどのように結びついているかお話いただきます。上記のワークショップ「四国版ローカル SDGs をつくろう～」の結果も踏まえた、ホットなセミナーです！

■講師略歴：

共同通信社に勤務後、英国イーストアングリア大学大学院で農村開発修士号取得。（特活）国際ボランティアセンター山形でカンボジア駐在員として農村開発事業に従事後、2002年にセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン入局。海外事業部、法人連携部を経て、2010年より政策提言を担当。子どもの権利実現の観点から保健や教育等の開発課題やSDGs、人道支援のアドボカシーに関わる。

参加ご希望の方は10月19日（木）12時まで、URL内のオンラインフォームよりお申し込み下さい。尚、昼食は各自ご持参下さい。〔*手話通訳が必要な方は、オンラインフォーム送信の際に、同フォームに加えて、下記事務局宛にメールでお申込み下さい。〕

■関連 URL：https://www.fasid.or.jp/seminar_info/167_list_detail.html

お問い合わせ先

一般財団法人国際開発機構（FASiD） 国際開発研究センター 担当：浜岡/朝戸
〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MT ビル 6 階 最寄駅：地下鉄神谷町、赤羽橋
Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp
地図: http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml